

レ・コード館

(北星町・東町・夕日ヶ丘

レ・コードの森地区)

『個別避難計画の作成

(北星町)について』

要望 高齢者の単身世帯を対象に災害時の避難方法などのアンケートを取った。アンケートでは、さまざまな意見があったが、回答していただいた方の平均年齢は79・5歳でアンケート内容を見ると、個別避難計画の作成に関して、自治会ではすぐ難しい問題だと感じている。他町の自治会長や社会福祉協議会にも聞いたが同じように厳しい現状だと言っていた。しかし、自治会として作成しなければいけないと考えているので、今後、行政と連携しながら進めていきたい。

※個別避難計画とは

災害時に迅速にかつ適切な避難を行うため、あらかじめ避難の計画をたてておくもので、令和3年5月の災害対策基本法の改正により、個別避難計画の作成が努力義務となった

回答 町としても北星自治会で行うことを先進事例として共有さ

『不法投棄について』

要望 以前、不法投棄について、町で看板を建ててもらおうなど、対応してもらったが、一向に不法投棄が減らない。

回答 担当課である町民生活課に伝え対応する。当課では、不法投棄がないか定期的に町内を巡回しているが、確認できない場合もある。不法投棄を発見した場合には、遠慮なく連絡してほしい。

大狩部生活センター

(大狩部地区)

『除雪について』

要望 国道と大狩部環状線の交差点付近の除雪の際、雪が残り出入りする際に支障があるので、管理者と業者間で調整を図ってほしい。

回答 現地を確認し、国道の道路管理者である開発浦河道路事務所へ連絡し対応を検討する。
※開発浦河道路事務所と町でお互いの業者に除雪の際、注意しながら対応することで協議済

せていたただきたいと考えている。行政もその中に入り、どのような方向性を示せば良いのか、今後、検討していく。

泉生活館

(若園・新栄・泉・岩清水地区)

『泉の墓地の道路について』

要望 泉の墓地に行く道路が傷んでいるため、補修してほしい。

回答 町民生活課が管理しているので、現地確認させ対応する。
※令和4年度に補修予定

本町多目的交流センター

(中央町・本町地区)

『判官館の整備について』

要望 判官館の遊歩道や階段などが老朽化により、道が悪いところなどがあるので、整備してほしい。

回答 現状を確認し、危険な箇所について、早急に対応する。

現在、判官館は多機能型交流施設の建設を進めており、今後利用者が増えることも想定されるため、しっかりと整備していく必要があると考えている。
アイヌ施策などの整備事業を見据えた中で、今後、検討していく。

新冠町女性コミュニティ会議

『新冠IC(仮称)開通に伴う

環境整備について』

要望 新冠IC(仮称)開通後、日高自動車道から新冠の街を見下ろすことができ、きれいな街並みが眺められることを期待しているが、国道の車道と歩道の間雑草がたくさん生えており、見栄えが悪いので、改善してほしい。

回答 国道の管理は基本的に国が行うことになる。しかし、他市町村で町民の方がきれいにしている市町村もある。今後、国にも要望するが、町内でも協力していきたいにできるような方法も検討していく。

『女性コミュニティ会議の

事業について』

要望 町は、子育て世代、高齢者世代への支援が手厚い一方で、40〜60代の女性層への支援体制が充実していないと感じる。財政的な支援ではなく、女性が外に出て交流できる場面や機会を作ってほしい。また、女性コミュニティ会議の活動が女性の方々に浸透しておらず、事業を行っ

緑丘生活センター

(緑丘・古岸地区)

『アライグマの被害について』

要望 アライグマの被害がひどいので、対策を強化してほしい。

回答 アライグマは、北海道では一部地域を除き、ほぼ全域に生息域が広がっており、各自治体は猟友会に依頼をするなど、駆除対策を行っている状況にあるが、生息数の増加に歯止めを掛けることは大変難しいというのが現状である。このため、被害を減少させるには、各農業者の皆さんにも自己防衛をいただいたため、当町では、箱罍の設置に必要なワナ免許の取得費用を全額補助をしている。また、箱罍の貸し出しも行っているのので、産業課に相談してほしい。

泊津生活館

(西泊津・東泊津地区)

『自治会活動について』

質問 年々、若い方が居なくなり自治会活動に参加する方が少なくなってきた。数年後には自治会の運営が成り立たなく

ても人数が集まらないのが活動をしていくの悩みである。

回答 今回、このように初めて懇談会を開き、女性の目線からご意見いただけたことに感謝している。

女性が参加できる事業、外出機会の創出については、より具体的に「ご意見もいただき、女性コミュニティ会議の事業に多くの方が参加できるよう行政としても協力したい。また、女性ならではの視点からまちづくりへの参画・提言など、皆さんからの協力もいただきたいと考えている。

新冠町青年団体連絡会議

『青年団体と役員職員との

協働のまちづくりについて』

要望 以前、受けた講演で団塊の世代ジュニアと言われる30代、40代以降、人口が減少しているため、この年代が我が町の事を考えることを放棄すると自分たちの町が無くなってしまおうという危機感を持ってほしいと言われたことがあった。そういったこともあり、青年団体や役員職員の若い方々とでまちづくりに対して論議する交流の場があれ

なっていくのではないかと不安に思っている。このことに関し今後、町でどのように対応していく予定か。

回答 町では、平成21年度から各地域に地域担当職員を配置している。地域の問題・課題を解決するために地域担当職員を配置している。今後、自治会活動や運営で困ったことがあれば遠慮なく地域担当職員に伝えてほしい。

『食肉センターの水道工事について』

要望 西泊津で食肉センター水道工事の測量を行っていた。この工事の詳細について教えてほしい。また、馬が多い地区なので、仕事の支障とならないようしっかり対応してほしい。

回答 食肉センターの工場を増設する計画があり、同センターより、このことに関わる地域への説明を行うと聞いている。おっしゃるとおり、工事の実施となると交通量が多くなるので、同センターとの協議や地域の皆さんの意見を聞きながら、安全対策を十分に講じて進めていく。

ば良いと思っている。連絡会議として携わっていく中で、社会教育課の同じ世代の方と共に仕事をしていると、町に対する熱い思いを感じた。そういった方々や役員職員の若い方々と交流する機会があれば、私たちも積極的に参加・協力したいと考えているので、ぜひ、検討してほしい。

回答 おっしゃるとおり、若い方が自分たちでこの町を担っていかねければいけないと考えている。今後、その方向性に向かって、当町の未来に繋がるようなまちづくりを進めていくので、ぜひ、その際は、協力をお願いしたい。

『宅地開発事業について』

質問 家を新築で建て、町の補助制度を利用できても助かった。しかし、何が一番困ったかというところ、家を建てる土地が少なく探すのに苦労した。知人も家を建てたいと言っている方が居るが、土地が無く困っている。「レ・コードの森」のように新たに分譲する計画はあるのか。

回答 現在、分譲できる町有地はありません。しかし、将来のまちづくりを進める上で重要なポイントなので、今後、検討・協議しながら進めていく。